

本資料は、サノフィ(フランス、パリ)とベーリンガーインゲルハイム社(ドイツ、インゲルハイム)が2015年12月15日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、12月17日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

サノフィとベーリンガーインゲルハイム、事業交換に向けた独占的交渉を開始

サノフィは、コンシューマーヘルスケア事業のグローバルリーダーに
ベーリンガーインゲルハイムは、世界第2位の動物用医薬品企業に

パリおよびインゲルハイムー2015年12月15日ーサノフィとベーリンガーインゲルハイムは本日、両社が事業交換に向けた独占的交渉を開始したことを発表しました。事業交換は、サノフィの動物用医薬品事業(以下、メリアル、事業価値 114 億ユーロ)と、ベーリンガーインゲルハイムのコンシューマーヘルスケア(CHC)事業(事業価値 67 億ユーロ)を対象としています。ベーリンガーインゲルハイムの中国におけるCHC事業は、事業交換の対象外となり、また、ベーリンガーインゲルハイムからサノフィへの 47 億ユーロの現金支払いが含まれます。

この事業交換により、サノフィのCHC事業は、売上高約 51 億ユーロを見込み(2015 年度予測ベース)、世界市場シェア 4.6%近くを獲得するトップクラスの事業体となることが予想されます¹。ベーリンガーインゲルハイムのCHC事業(中国を除く)の 2015 年度の売上高は約 16 億ユーロと見込まれ、製品および展開地域の両面においてサノフィのCHC事業と高い相互補完性を有します。ベーリンガーインゲルハイムのCHC事業により、サノフィのCHC事業の展開が限定されているドイツと日本におけるポジションを向上し、優先カテゴリにおけるプレゼンスを拡大させることが期待されます。事業交換により、サノフィは、抗けいれん薬、消化器用薬、VMS(ビタミン、ミネラル、サプリメント)および鎮痛薬領域の著名ブランド獲得のほか、鎮咳去痰・感冒薬市場においても事業拡大に必要な普及率を獲得します。サノフィの米国、欧州および中南米におけるCHC事業も大きく拡大し、主要国および/または主力製品分野多くでリーダー的地位を獲得することが期待されます。

動物用医薬品産業は、革新性や成長の可能性、収益性においてきわめて魅力的な事業領域です。メリアルとベーリンガーインゲルハイム両社の相補的な強みを統合することで、売上高約 38 億ユーロ(2015 年度予測ベース)を見込む世界第 2 位の企業となり、世界市場での首位を競う企業となると期待されます。抗寄生虫薬、ワクチン、スペシャルティ医薬品領域におけるポートフォリオと技術基盤を結集することで、動物用医薬品分野における重要な成長セグメントを形成することが期待されます。メリアルはコンパニオンアニマルと家禽部門に強みを持ち、ベーリンガーインゲルハイムは養豚分野での専門性を有するため、ポートフォリオの相補性も高い統合といえます。

¹ Nicholas Hall & Company, MAT Q3 2015

サノフィ最高経営責任者(CEO)のオリヴィエ・ブランディクール(M.D.)は、次のように述べています。「ベーリンガーインゲルハイムと独占的交渉に着手し、当社の 2020 年に向けたロードマップの戦略的目標の 1 つである、勝てる領域で競争力のある地位を築くという目標の達成に向け、迅速に行動しています。今回の事業交換により、当社は魅力ある非処方箋薬市場の世界的リーダーの地位を獲得します。著名なブランド製品でポートフォリオを補完・構築し、これにより中長期的な価値の創出が可能となります。私は、ベーリンガーインゲルハイムがメリアルの可能性を存分に開花させ、魅力的かつ競合の激しい動物用医薬品市場において、大きく成長させることを確信しています」

サノフィはドイツに CHC 事業の本拠を置く予定です。これにより、特に消化器系薬と鎮咳去痰・感冒薬で、ベーリンガーインゲルハイムのチームの優れた能力が大きな利益をもたらすと考えられます。サノフィは、労務に関わる課題と、技術、人員の保持に十分配慮します。

ベーリンガーインゲルハイム取締役会長のアンドレアス・バーナー(Prof.)は、次のように述べています。「ベーリンガーインゲルハイムの戦略的優先課題は、当社のポートフォリオのなかでも、世界的規模を確立しているか、もしくはその道筋が得られることが明確な中核分野での専門性と事業を集中することです。当社は、今後も引き続き、革新性と新規性の高いソリューションを、獣医師と動物のオーナーにお届けすることに注力していきます。動物用医薬品事業の統合により、将来のさらなる成長とグローバルリーダーとしての台頭に向けた準備が整うこととなります。私は、サノフィが、高度な専門性を有する献身的なチームにより、私たちの CHC 事業を今後存分に生かし、可能性を開花させることを確信しています」

ベーリンガーインゲルハイムは、動物用医薬品事業の本拠をリヨンとし、フランスにおける事業活動、研究開発と製造拠点を維持する予定です。ベーリンガーインゲルハイムは、メリアルにとって重要な部分を占めている米国事業の勢いを維持するよう特に注意を払う予定です。ベーリンガーインゲルハイムは、労務に関わる課題と、技術、人員の保持に十分配慮します。

正式契約は、関連する各団体との協議を経て、数カ月以内に締結する予定です。ベーリンガーインゲルハイムとサノフィは、規制当局の承認を経て 2016 年第 4 四半期に取引を完了させることを当面の目標としています。

サノフィは、本取引の純利益の一部を自社株の買い戻しに用いる予定です。予測される CHC 事業の業績、自社株取得と期待されるシナジー効果を考慮し、取引全体では 1 株当たりの最終利益(EPS)が 2017 年には事業交換前の水準に復帰し、その後は増加に転じることが期待されます。

サノフィの CHC 事業

2014 年度の売上高は 33 億ユーロでした。主力ブランドには、抗アレルギー薬 Allegra[®](アレグラ、2014 年度売上高:3 億 5,000 万ユーロ)と Nasacort[®](同 1 億 1,400 万ユーロ)、鎮痛薬 Doliprane[®](同 3 億 1,000 万ユーロ)、No-Spa[®](同 1 億 900 万ユーロ)および Dorflex[®](同 9,000 万ユーロ)、消化器用薬 Essentiale[®](同 2 億 3,500 万ユーロ)、Enterogermina[®](同 1 億 5,600 万ユーロ)、Maalox[®](同 9,800 万ユーロ)、フェミニンゾーン洗浄剤 Lactacyd[®](ラクタシード、同 1 億 400 万ユーロ)、ビタミン・ミネラル含有サプリメント Magné B6[®](同 8,800 万ユーロ)などがあります。2014 年度における CHC 事業の売上の 52.6% は新興市場、21.2%が米国、20.3%が西欧で得られました。

サノフィとベーリンガーインゲルハイムの世界の CHC 事業合計 - 主力製品領域(試算)

出典: Nicholas Hall & Company, 2014 年度

グローバルカテゴリ*	セグメントサイズ(10 億ユーロ)	サノフィと BI の CHC 合計
疼痛ケア	13.2	2 位
アレルギー治療薬	3.1	3 位
鎮咳去痰・感冒薬	17.2	6 位
フェミニンゾーンケア	0.8	1 位
消化器系	14.4	1 位

VMS ²	27.6	3位
------------------	------	----

*サノフィの定義に基づく

メリアルについて

メリアルは、多くの動物の健康と福祉の向上のため様々な製品を提供している、研究・開発主導型の動物用医薬品分野における世界のリーダー企業です。世界中でおよそ 6,600 名のスタッフが従事し、その製品は 150 カ国以上で販売され、2015 年度の年間販売高はおよそ 25 億ユーロを見込んでいます。

メリアルは、コンパニオンアニマル、産業動物、獣医公衆衛生の 3 分野を柱に事業を展開しています。メリアルの動物用医薬品・ワクチンは、疾病予防と健康と福祉の向上を目的とし、様々な動物における 200 種類以上の疾病・症状に対応する製品です。

メリアルの主力製品は、コンパニオンアニマル用の Frontline[®](フロントライン)、Heartgard[®](ハードガード)、NexGard[®](ネクスガード)および Purevax[®](ピュアボックス)、産業動物用の Vaxxitek[®]、Eprinex[®](エプリネックス)、Ivomec[®](アイボメック)、Longrange[®]、Circovac[®](サーコバック)および GastroGard[®](ガストロガード)等です。メリアルは、獣医公衆衛生(VPH)の戦略的パートナーとして、各国政府に口蹄疫(FMD)ワクチン、狂犬病ワクチン、ブルータンクウイルス(BTV)ワクチンを提供しています。

革新性と専門性の高い製品をお届けするために、メリアルは世界各地に 13 の研究開発拠点と 18 の生産拠点を有しています。メリアルは、人口増加、動物性タンパク質の需要拡大、新興市場のニーズ、中流層の拡大、資源の制約や、持続性への懸念などのグローバルトレンドに鑑み、常にイノベーションを目指し、顧客と動物のニーズを満たす新たなソリューションをお届けしています。

詳細については、www.merial.com をご覧ください。

サノフィについて

サノフィ・グループは、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行うグローバルヘルスケアリーダーです。糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマーヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、ジェンザイムを中核としています。パリ(EURONEXT:SAN)およびニューヨーク(NYSE:SNY)に上場しています。

以上

サノフィの今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは大幅に異なる可能性があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、ならびにサノフィの 2014 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。

² Vitamins, minerals and supplements